



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社エムアップ 上場取引所 東
 コード番号 3661 URL http://www.m-up.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 美藤宏一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務経理部長 (氏名) 藤池 季樹 TEL 03-5467-7125
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	872	5.0	65	△41.2	83	△27.1	54	△31.4
29年3月期第1四半期	830	△6.0	111	△22.8	115	△21.0	79	△23.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 67百万円 (636.4%) 29年3月期第1四半期 9百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	7.30	7.27
29年3月期第1四半期	10.66	10.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	2,961	2,131	70.9	281.19
29年3月期	3,069	2,227	71.5	293.99

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,099百万円 29年3月期 2,193百万円

配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	0.00	-	22.00	22.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
通期	3,200	△13.8	470	10.3	470	0.6	310	0.0	41.61

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※当社は、予算編成を通期ベースで行っており、業績の進捗管理およびその評価は通期でのみ実施しているため、第2四半期(累計)期間における業績予想については、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	7,468,400株	29年3月期	7,462,400株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	86株	29年3月期	86株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	7,462,578株	29年3月期1Q	7,449,914株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用情勢の改善や所得環境の持ち直しにより、個人消費も向上するなど、緩やかながらも回復基調が続いております。今後についても回復が期待されておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動による影響など、依然として不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及と利用時間の増加によるインターネットのモバイル化が進んでおり、今後も安定的な成長と拡大が期待されております。

平成28年における情報通信機器の保有状況は、スマートフォンが71.8%（前年同期比0.2ポイント減）、タブレット端末が34.4%（前年同期比1.1ポイント増）と、普及が一巡したことから前年と同程度となっております。一方で、インターネットの利用状況を見ると、スマートフォンからのインターネット利用率は58%（前年同期比4ポイント増）、平均利用時間は61.3分（前年同期比13.9%増）と増加しており、1人が1台持つ情報端末として、スマートフォンは生活の中心になりつつあります。

また、スマートフォンやタブレット端末の利用増加に伴い、モバイルコンテンツの市場規模は、平成28年には全体で1兆8,757億円（前年同期比20.0%増）となり、大幅な拡大が続いております（出所：いずれも総務省「平成29年版情報通信白書」）。

このような外部環境の中、当社グループでは、アーティストやタレント、声優、アニメまでの幅広いジャンルにおいて、ファンクラブサイトの運営、キャラクター、スタンプ、音楽、電子書籍といった多岐にわたるデジタルコンテンツの配信や、eコマースに至るまでを複合的に展開し、サイトや各事業セグメント間でのシナジー効果を発揮させることによって、事業基盤の拡大と多様化を進めてまいりました。また、今後の当社グループの新たな成長へ向けて、子会社を通じた新規事業の開発にも取り組んでまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、アイドルグループとのコラボレーション公式アプリの開発を進め、事前登録キャンペーンなどを展開してまいりました。なお、本アプリにつきましては、第2四半期より収益の計上を見込んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は872百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は65百万円（前年同期比41.2%減）、経常利益は83百万円（前年同期比27.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は54百万円（前年同期比31.4%減）となりました。

セグメントごとの概要は、以下のとおりであります。

①携帯コンテンツ配信事業

携帯コンテンツ配信事業につきましては、アーティストや声優、タレントのファンクラブ及びファンメール配信サイトの新規開設や、他社からのサイト運営の移管など、事業の基盤となる有料会員の獲得を進めてまいりました。また、「スゴ得コンテンツ」等、各キャリアが運営するスマートフォン向け月額使い放題サービスにつきましても、引き続きコンテンツ、サービスの提供を行ってまいりました。

新たな取り組みといたしましては、テレビ局が提供するアニメ動画見放題サービスの開発や、タテ型アニメ視聴アプリのリリースなど、これまでのコンテンツ配信で培った経験やノウハウを活用し、動画配信分野の強化、開拓を進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における携帯コンテンツ配信事業の売上高は742百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は200百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

②PCコンテンツ配信事業

PCコンテンツ配信事業につきましては、アーティスト及びタレント等のPC向け有料ファンクラブサイトの運営を行ってまいりました。また、将来の携帯コンテンツ配信事業での有料化を見据え、アーティストやタレントのオフィシャルサイトの受託制作なども実施してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるPCコンテンツ配信事業の売上高は39百万円（前年同期比12.0%減）、セグメント損失は3百万円（前年同期は8百万円のセグメント利益）となりました。

③eコマース事業

eコマース事業につきましては、CD、DVD及びブルーレイといった音楽映像商品と、それに関連するアーティストグッズを中心に、大手レコード会社との提携によるレコード会社の公式販売サイトの運営管理と当社による直販の両面から事業を展開してまいりました。

この他、アパレル商品の委託販売なども実施してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるeコマース事業の売上高は34百万円（前年同期比16.9%減）、セグメント利益は2百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,961百万円(前連結会計年度末比3.5%減)となりました。

流動資産は1,994百万円(同5.4%減)となりました。主な内訳は現金及び預金1,211百万円(同3.3%増)、受取手形及び売掛金643百万円(同13.1%減)となっております。

固定資産は966百万円(同0.6%増)となりました。主な内訳は有形固定資産277百万円(同1.2%減)、投資有価証券459百万円(同4.0%増)となっております。

(負債の部)

流動負債は788百万円(同2.3%減)となりました。主な内訳は買掛金429百万円(同3.4%減)であります。

固定負債は40百万円(同18.5%増)となりました。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の合計は2,131百万円(同4.3%減)となりました。主な内訳は資本金245百万円(0.3%増)、資本剰余金268百万円(0.3%増)、利益剰余金1,558百万円(同6.6%減)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後における我が国の経済は、雇用及び所得環境の改善が続くなかで、個人消費も持ち直しを見せるなど、緩やかに回復が続くと期待される一方で、新興国を中心とした海外景気の先行きや政策の不確実性、金融資本市場の変動による影響も懸念されております。

当社の属するインターネット関連市場につきましては、スマートフォンの利用が定着し、それに伴ってスマートフォン向けコンテンツサービスの市場が大きく拡大しており、モバイルビジネスを取り巻く環境は日々変化しております。

こうした事業環境の中、当社は技術及び市場動向の影響を受けにくい、ファンクラブサイトを事業の基盤に新規有料会員の獲得を推進しております。新規ファンクラブサイトの開設や、既存サイトへのファンメールやサブスクリプションといった新サービスの追加によるテコ入れを実施すべく、組織体制の見直しも実施いたしました。

また、スマートフォン向けの動画など新たな事業領域の開拓を進めております。加えて、積極的な新規子会社の展開や、子会社を通じた他社との事業提携、並びに新規事業の開発にも取り組んでおり、子会社を通じたアプリ開発等に注力しております。

当社といたしましては、子会社を通じた新規事業の開発など、これまで以上に迅速な事業展開を進めていく方針であります。しかしながら、スマートフォン向けコンテンツ市場は、技術革新やサービスの流行と陳腐化の流れが早く、それらを的確に予測することは困難であり、また子会社を通じた新規事業はこれまで当社が手掛けてこなかった新規分野であることから、不確定な要素も多く含まれます。そのため、新規サイト及び子会社を通じた新規事業に関しましては保守的な見通しとしており、事業の立ち上がりの状況などを見極め、業績予想はあらためて見直していく方針です。

費用面では、販売に比例し増減するロイヤリティ等や、採用の強化に伴う人材関連費用の増加、子会社における新規事業への先行投資などを見込んでおります。

以上により、今期(平成30年3月期)の見通しについては、平成29年5月15日に開示しました業績予想に変更はありません。

売上高3,200百万円(前年同期比13.8%減)、営業利益470百万円(前年同期比10.3%増)、経常利益470百万円(前年同期比0.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益310百万円(前年同期比0.0%)を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,172,650	1,211,842
受取手形及び売掛金	741,322	643,921
商品	11,626	14,721
仕掛品	1,800	4,707
その他	182,158	120,356
貸倒引当金	△930	△856
流動資産合計	2,108,626	1,994,692
固定資産		
有形固定資産	281,002	277,765
無形固定資産		
のれん	18,817	14,474
その他	59,016	59,652
無形固定資産合計	77,834	74,127
投資その他の資産		
投資有価証券	441,938	459,497
その他	222,067	217,012
貸倒引当金	△62,311	△61,775
投資その他の資産合計	601,694	614,734
固定資産合計	960,530	966,628
資産合計	3,069,157	2,961,321
負債の部		
流動負債		
買掛金	444,464	429,210
未払法人税等	93,086	26,241
賞与引当金	13,859	3,934
役員賞与引当金	30,000	7,500
その他	226,036	322,036
流動負債合計	807,446	788,923
固定負債		
資産除去債務	18,612	18,612
その他	15,812	22,192
固定負債合計	34,425	40,805
負債合計	841,872	829,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	245,129	245,804
資本剰余金	268,233	268,908
利益剰余金	1,668,091	1,558,415
自己株式	△48	△48
株主資本合計	2,181,406	2,073,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,407	26,918
その他の包括利益累計額合計	12,407	26,918
新株予約権	18,648	17,983
非支配株主持分	14,823	13,611
純資産合計	2,227,285	2,131,593
負債純資産合計	3,069,157	2,961,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	830,377	872,303
売上原価	514,955	570,928
売上総利益	315,422	301,375
販売費及び一般管理費	203,559	235,626
営業利益	111,863	65,748
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	1,161	536
投資有価証券売却益	-	15,488
受取賃貸料	374	1,024
商標権譲渡益	2,000	-
その他	54	1,146
営業外収益合計	3,589	18,196
営業外費用		
投資有価証券売却損	307	-
為替差損	79	5
営業外費用合計	386	5
経常利益	115,065	83,939
特別利益		
新株予約権戻入益	-	756
特別利益合計	-	756
税金等調整前四半期純利益	115,065	84,695
法人税、住民税及び事業税	31,742	21,876
法人税等調整額	5,163	9,536
法人税等合計	36,905	31,412
四半期純利益	78,160	53,282
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,288	△1,211
親会社株主に帰属する四半期純利益	79,449	54,494

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	78,160	53,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,954	14,510
その他の包括利益合計	△68,954	14,510
四半期包括利益	9,205	67,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,494	69,005
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,288	△1,211

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	携帯 コンテンツ 配信事業	PC コンテン ツ 配信事業	eコマース 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	740,799	44,917	42,061	827,778	2,598	830,377	-	830,377
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	740,799	44,917	42,061	827,778	2,598	830,377	-	830,377
セグメント利益 又は損失(△)	181,528	8,444	1,994	191,968	△7,978	183,989	△72,126	111,863

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△72,126千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	携帯 コンテンツ 配信事業	PC コンテン ツ 配信事業	eコマース 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	742,970	39,534	34,962	817,468	54,835	872,303	-	872,303
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	9,206	9,206	△9,206	-
計	742,970	39,534	34,962	817,468	64,041	881,509	△9,206	872,303
セグメント利益 又は損失(△)	200,782	△3,056	2,718	200,445	△17,403	183,042	△117,293	65,748

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△117,293千円には、セグメント間取引消去△9,206千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△126,499千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。